

みねはま



峰浜小学校報 No.96

令和4年12月9日

文責：佐藤

峰浜小HPにカラー版を掲載してます

<http://www.shirakami.or.jp/~minesyo/>

俳句の学校

伊藤園お～いお茶新俳句大賞

【小学校の部 優秀賞】

4年 小林 優 『ひまわりが咲いて地球の軸となる』

【佳作特別賞】

4年 高木 獅治 『さつまいも大きくなると光る土』

【佳作】

4年 川村 李輝 『おもちつき遠くの山もこえかける』

6年 山脇 彬翔 『十二湖の秋や葉っぱの会議中』

※小林優さんと高木獅治さんの作品は、「お～いお茶」のペットボトルに掲載されます。



石井露月顕彰全国俳句大会「小学生の部」

【入選】

2年 伊勢 蒼介 『つめたいな水でっぼうとかいわする』

4年 内山 泰希 『鮎放流川をかき分けまっしぐら』

5年 中山 未宇 『初めての田植えて足が棒になる』

6年 佐々木 淳之介 『スイカ割りねらい定めて海を打つ』



全国俳句大会ジュニアの部

【大会賞】

2年 北川 大翔 『おとしだまうちゅうりょこうへためておく』

3年 工藤 絵真 『みずたまりポチャんとつゆがあける音』

【優秀賞】

2年 柴田 明咲 『うみもやまもみんなおきてるおおみそか』

3年 富山 優雅 『なつやすみどこかのほしであそびたい』

【入選】

3年 小林 武 『ふきのとうきれいな空気はいている』

5年 高杉 祐那 『チューリップいろんな色で話しかけ』

【佳作】

3年 小林 士 『つばめよくとぶよ校歌も元気よく』

4年 後藤 菜子 『うたが出るぜんまいとりに行くたびに』

5年 田畑 陽色 『せみはジリジリ鳴いて算数いやにする』



あきた白神子ども俳画大会

【八峰町長賞】

4年 鈴木 結乃

『へちまのつる天におかっていざ出陣』

【八峰町教育長賞】

5年 米森 結夏

『太陽にかさなりひまわりかがやくよ』

【審査員長賞】

4年 中山 瑛太

『鮎放流なかまとはぐれ行くやつも』

5年 本多 心愛

『タやみがかがやきさくらふぶくかな』



【審査員特別賞】

6年 木藤 利吾武

『アスパラガスやりのとんがりぐあいよし』

6年 勝山 光

『たんぽぽのわたがとぶこといいしるし』

【佳作】

1年 米森 彩華

『らんどせるせおいさくらをよろこばす』

3年 小林 士

『スイカ割り地を打ちぼうのほねおれる』

5年 今井 彩遊

『桜さき一年生のせをかざる』



本棚作り

秋田建築労働組合能代支部（小沢悟支部長）のご協力により、5・6年生が本棚作りに挑戦しました。のこぎりや金づちの経験はあまりなかったのですが、建築のプロが7人もいらして教えていただいたこともあり、全員が上手に仕上げることができました。どんなにパソコン等が発展しても、建築の技は必要になります。

5・6年生はものづくりの楽しさとともに、ものづくりの必要性にも気が付いたようでした。



ミニバス全県大会へ

能代市山本郡の大会で準優勝を果たした『峰浜BBC』が全県大会に出場します。大会は、由利本荘市のナイスアリーナで開かれ、1回戦は12月10日(土)に、『中仙ミラズ』と対戦します。ぜひ、練習の成果を発揮してください。